

黒川鶏冠山(くろかわけいかんざん 1,716m)

どんぐり山行会因縁の黒川鶏冠山へ4度目の正直となるか、昨夜の雨は上がったようだが走るバスのワイパーが止まらない。しかし天気は回復傾向という予報を信じて圏央道を青梅ICで降り、市街地を通って奥多摩湖方面へ、奥多摩湖畔でトイレ休憩後大菩薩ラインを甲州市方面へ向かう。車内では奥多摩～丹波山村近辺の山の話で盛り上がりながら山行出発地点の柳沢峠には8時40分到着。◆ドライバーはいつもの玉邑さんに代わり、昨年9月の大菩薩嶺の時と同じ関谷さんが今回も担当してくれた。本日の参加者はゲストの中村さんと坂田さんは今日から会員となり総勢19名で出発し、帰りには中村さんもカムバック入会となりました。リーダーは佐野さんお願いします。◆8時50分出発、急登もない歩きやすい道を六本木峠・横手山峠と約1時間半進む。登山道脇にはマイヅルソウ、ズダヤクシュ、ワチガイソウ、エンレイソウ、ミツバツツジなどの花が次々に出てきて楽しませてくれた。横手山峠の分岐を北に進んだ。北回りのルートはそれまでと違い岩の多い急な登りがしばらく続く、ちょっとルート選択ミスかもしれないと後から反省した。やっと鶏冠山と黒川山の分岐に到着し鶏冠山(鶏冠神社)方面に、ここからは本格的に両手を使って登るような岩々の道だった。しかし、登山道脇にはアズマシャクナゲが大きな花を付けていたし、足元にはイワカガミが沢山咲いている。きつい登りもこれらの花に癒されつつ11時半に鶏冠山到着。鶏冠神社祠の裏は断崖絶壁だが、霧でよく見えないので高所の恐怖が少しは緩和されたように感じた。◆鶏冠山から分岐に戻るのも大変だったが、分岐から黒川山は5分でその先の展望台で昼食予定も、霧で展望は望めず場所も狭いということで樹間だが開けていて広い黒川山の三角点で昼食とした。帰りは南側のルートを歩いたが緩いアップダウンで歩きやすく14時35分過ぎ予定よりも少し遅れて下山完了となった。◆さあ帰ろうというときにアクシデント発生！荷室を整理してくれていた関谷さんが荷室天井の金属網で頭を切ってしまった。幸い大きな怪我とはならずメンバーの看護師さんの手当てで運転には支障がなく帰路に着く事が出来た。途中道の駅たばやまで買い物休憩を挟み17時半に若葉到着。なかなかすっきりと天気が回復しなかったが、雨に降られずにいろいろな花達を見る事が出来たいい山行でした。又、この山には杉や檜などの人工林が無くてカエデやブナなどの広葉樹が中心だったので秋の季節にも訪れたいと思える所でした。@3,300(伊藤記)

